

第5回

大館市のイメージは「自然の多いまち」

「世論調査」まよもある

市では昨年十月、市内に住む成人男女千五百二十九人（回収率九八・一％）を無作為抽出して「第五回世論調査」を実施しました。この調査は、住みよいまちづくりを進めるため、皆さんが市の現状について、また将来についてどのように考えているかを知るために実施しているものです。今回は生活環境問題や産業、教育、国際交流など三十一の設問に答えていただきました。その中から主なものを今号と次号の二回にわたってお知らせします。なお、市では今後、この結果を市の基本構想の策定や、各種分野の基礎資料として活用させていただきます。

テーマⅠへ行政へ

時代に合った

基本構想の策定を

- Q1・あなたは昭和56年につくられた基本構想をご存じですか。
- ①知っている 24%
 - ②知らない 74%
- Q2・「知っている」と答えた方へ。基本構想についてどう思いますか。
- ①もっと時代に合うように練り直した方がよい 51%
 - ②できるだけ市民の手作りで作った方がよい 24%
 - ③いまのままでもいい 15%
- Q3・市政を執行する過程で市民の意見が反映されていると思いますか。
- ①思う 20%
 - ②思わない 44%
 - ③わからない 34%

①と答えた方の55％は「市民と語る会での意見が反映されている」次いで「市と議会の間で十分審議されている」となっています。一方、②と答えた方はその理由として「市民の意見を聞く機会がつかれていない」「行政だけで決めている」などをあげています。また、市に対する意見や苦情などの要望方法としては、「担当課へ直接」というのがトップで、次いで「町内会を通じて」「市民と語る会」「市議会議員を通じて」の順になっています。

Q4・市民参加の市政を進めるためにはどうしたらよいと思いますか。

- (二つ回答)
- ①市の事業の情報をもっと公開し、意見反映の場を設定する。 42%
 - ②地域住民生活に大きな影響を与える問題については、住民が意思表明できるような仕組みにする 41%

情報公開は

プライバシーを守って

Q5・市の「情報公開」についてどのように考えていますか。

- ①市民のプライバシー保護対策を考えて情報公開を大いに進めるべきである。 40%

表Ⅰ、答えていただいた方
年代別 (人)

年代	男	女	合計
20代	97	85	182
30代	179	156	335
40代	190	194	384
50代	203	177	380
60歳以上	91	157	248
合計	760	769	1,529

②情報公開制度を実施すべきだ

③必要はない

Q6・市の行政で今後特に力を入れてほしいものは？(三つ回答)

①商工業を盛んにし、物価安定に

関すること 53%

②道路や、上下水道などの整備

③「大館らしさ」のまちづくり 29%

④都市計画事業を推進すること 26%

(市街地再開発など) 26%

⑤地場産業の育成に関すること 22%

⑥お年寄りや障害者など、福祉に

関すること 20%

⑦健康や保健医療について 19%

⑧自然を保護し、緑をふやすこと 18%

Q7・いま欲しいと思う公共施設

はなんですか？(二つ回答)

①冬期スポーツ施設(スキー、ス

ケート場) 36%

②市営駐車場 19%

③観光レジャーセンター 16%

④大型体育館 13%

⑤温泉会館 12%

以下温水プール、町内会集会施

設、美術館、博物館を挙げており、

スポーツ・レジャー施設の要望が

上位を占めています。

市長の
対話ノート



No.125

雪から出ずる

数日前、東京から帰る途中、盛岡まではほとんど雪はありませんでしたが、峠を越えたら猛吹雪でした。

太平洋側ではカラカラ天気で火災問題で大変だし、春以降の水不足がいまから心配されています。一方当地方ではウィンタースポーツの真盛り。一中や桂高校スキー部の皆さんの大活躍には心からお祝いを申し上げます。

「冬、雪」という言葉に暗いイメージはありますが、人間の本質である「耐える」「協調する」「鍛える」という精神的、肉体的な面が強化されますし、春以降に備える自然の備蓄にもなります。まさにプラス面であります。

しかし、それだけでは何か足りません。この豊富な自然と環境を物理的、科学的な資源として活用するアイデアはないものでしょうか。

ほかに頼るのではなく、この雪の中で生まれ、育った生活体験を通した中から発見、開発はないものでしょうか。きつとあります。ただマイナス面から抜け切れないで来た分だけ多少時間はかかるだけだと思います。

中山健治郎